

# クリニックレター 2021年12月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

#) 先月号でもお知らせしました通り、今シーズンのインフルエンザワクチンの生産量が例年に比べて7割程度とのことで、当院でも約200名様分の確保が精一杯という状況です。11月1日現在では、まだ少し余裕がございますので、ワクチン接種を希望される方は、どうぞお早めにお申し出ください。

## 中国医学と日本漢方

クリニックのロビーにも掲示してあるように、私は、「日本東洋医学会」が認定する「漢方専門医」ですが、当院は、漢方専門医を目指す先生方が研修する「研修施設」であり私は「指導医」でもあります。また、日本には、「日本中医薬学会」があり私はこの学会の理事を勤めています。んん？？ちょっとややこしくなってきましたね。東洋医学、漢方、中医学、どこが同じでどこが違うのでしょうか。今回は、このあたりのお話からはいりたいと思います。

そもそも、「漢方」とは、漢の国から来た医学、という意味です。中国の歴史において、漢王朝とは、前漢（紀元前206年-8年）後漢（25年-220年）のことであり、この時代に黄帝内経素問(中国伝統医学の代表的な基礎理論書)や神農本草経(本草=生薬学の代表的書物)、傷寒雑病論(漢方のバイブルとも言われる書物)などが作られたのですが、この時代に限らず、日本人は古くから中国の事を「漢の国」と呼びならわすことがあったため、「中国から来た医学」という意味で「漢方」という言葉が使われるようになった、というのが正しいところかと思えます。もっとも、いつから「漢方」という言葉が使われるようになったのか、という事に関してはこれまで研究がなく、おそらく、江戸時代末期ではないかと考えられています。それまでは、医学と言えば(今で言う)漢方しかなかったため、特に名前をつける必要はなかったのですが、江戸後期にオランダ医学(=蘭方)が日本に入ってきてからは、それまでの医学を「和方」と呼ぶようになりそれがいつしか「漢方」と呼ばれるようになったようです。

中国においては、先に述べた漢の時代から、隋、唐、宋、元、明、清と(歴史の授業で覚えましたね^^)と時代を経て医学が進歩してきましたが、彼らは自分たちの国の医学ですから、西洋医学が入ってきた後も、中国伝統医学を「中医学」と呼んでいます。一方、日本においては、室町~江戸時代のごく初期までは、当時の“モダン”な明の医学がほぼリアルタイムで日本に入ってきていたのですが、江戸時代の鎖国政策によって(実際は対馬を通じて朝鮮と、沖縄を通じて中国と交易があったので完全な鎖国ではなかったとの説もあります)、これ以降の中国の医学が日本に入ってくるなくなり、江戸期以降の日本の漢方は、独自の道を歩むようになりました。

日本漢方においても、上述の「傷寒雑病論」に書かれている医学を踏襲する人たちが「古方派」と呼び、明時代の医学を中心に据える人たちを「後世派」と呼びます。

また、両者を取り混ぜて用いる人たちを「折衷派」と呼んだりもします。いずれの流派においても共通することは、漢方的な診察において「腹診」を重要視することで、これと、患者さんの訴えや腹診の情報から(漢方的理論をあまり挟まずに)処方決定する、「方証相對」という方法論が、日本漢方の一番の特徴と言えます。

他方、中医学はというと、腹診をあまり重要視せず、患者さんの訴えと脈診や舌診の情報をもとに、漢方的な理論をもって病態を考察し、そこから処方を導き出します。実は、この中医学の手法が日本に入ってきたのは、今からたった49年前1972年、の日中国交回復以来のことなのです。江戸時代はともかくとして、なぜ、明治以降、100年以上も中国からリアルタイムの中医学が入ってこなかったのか、という点に関しては、日中両国のそれぞれの事情があり、ここでの説明は省きますが、私が漢方を最初に勉強した兵庫県立東洋医学研究所では、一貫堂医学といわれる後世派の漢方とともに、当時の現代中医学を導入していましたし、私自身も兵庫県からの公費留学で中国(天津・北京)で中医学を学ぶ機会をいただいたため、日本漢方だけでなく、中医学にもシンパシーを感じるようになったのです。

この11月に、日本中医薬学会は第11回学術総会を関西のメンバーを中心として開催し、私も「顧問」(えらそうな役名ですが、第4回の総会で私が会長を務めたため、今回はご隠居さんみみたいな役目にしてもらいました)としてプログラム作成などに関わったのですが、中国本土や香港、台湾などの先生や、中国で医師の資格を持つ日本人、中国の中医薬大学で何年も勉強した日本人医師なども参加し、非常にレベルの高い内容で、私も大いに勉強させていただきました。

## 患者様へのお知らせ

11月22日(月)を休診とさせていただきます。

## お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及び、クリニック周辺の道路には、駐車されないようにお願いします。駐車中のアイドリングもおやめください。